

## ネイティブ微生物サルコシンオキシダーゼ

Cat. No. DIA-171

Lot. No. (See product label)

### はじめに

**概要** サルコシンオキシダーゼ (SAO) は、サルコシンの酸化的脱メチル化を触媒し、グリシン、 $H_2O_2$ 、5, 10-CH<sub>2</sub>-テトラヒドロ葉酸を生成する酵素です。この反応にはH<sub>4</sub>-テトラヒドロ葉酸と酸素が必要です。サルコシン +  $H_2O$  +  $O_2$  = グリシン + フォルムアルデヒド +  $H_2O_2$ 。

**用途** この酵素は、クレアチニンアミドヒドロラーゼおよびクレアチンアミジノヒドロラーゼと結合することで、クレアチニン、クレアチン、サルコシンの酵素的測定に役立ちます。**-341**は新しいタイプのサルコシンオキシダーゼで、抗菌試験において安定性が向上しています。

**別名** サルコシンオキシダーゼ; EC 1.5.3.1; SAO

### 製品情報

由来	微生物
外形	黄褐色の非晶質粉末、凍結乾燥された
形態	フリーズドライパウダー
EC番号	EC 1.5.3.1
CAS登録番号	9029-22-5
分子量	approx. 65 kDa (by gel filtration)
活性	グレードIII 8.0U/mg-固体以上
混入物	カタラーゼ < 1.0%
等電点	4.9±0.1
pH安定性	pH 6.5-9.0 (25°C, 24時間)
最適pH	7.0-8.5
熱安定性	55°C未満 (pH 7.5、10分)
最適温度	40-50°C
ミカエリス定数	$2.8 \times 10^{-3} M$ (サルコシン)
阻害剤	Cu <sup>++</sup> 、Ag <sup>+</sup> 、Hg <sup>++</sup> 、p-クロロ水銀ベンゾエート、N-エチルマレイミド、SDS
安定化剤	グルコン酸カリウム
機能	アミノオキシダーゼ活性; オキシドレダクターゼ活性; カルシウムイオン結合; 銅イオン結合; キノン結合。

### 保管・発送情報

**安定性** -20°Cで少なくとも1年間安定しています